

2023年 JPBA 東日本ブロック総会 議事録

JPBA 東日本ブロック

1. 開催日時及び方法と場所

- (1) 開催日時 2023年2月4日(土) 午後2時30分から午後5時
- (2) 開催方法 通常総会
- (3) 開催場所 アットビジネスセンター池袋駅前別館 805号 会議室

2. 理事数及び出席理事数

- (1) 理事数 5名(岡田・西尾・福井・渡辺・白岩)
- (2) 出席理事数 5名(岡田・西尾・福井・渡辺・白岩)

3. 会員数及び出席会員数

- (1) 東日本男子会員数 106名(男子:理事含む) ※2023年1月末時点
- (2) 出席会員数 106名中(出席21名(途中退席1名)、委任状出席39名
合計60名、無投票46名)

4. 司会と議長氏名: 東日本ブロック長: 岡田将輝

5. 議事録作成氏名: 東日本ブロック長: 岡田将輝

6. 議長選任

定刻に至り司会者岡田将輝理事が開会を宣し、JPBA 規約32条2項に基づき、本日の通常総会の出席数を告げたのち、JPBA 規約32条1項に基づき、東日本ブロック長の岡田将輝を議長に指名し、報告事項と議案の審議に入った。

7. 報告事項と議案別の結果

【2022年報告事項】

「各支部(北海道・関東・東北)/活動報告」「各支部(北海道・関東・東北)/収支報告書」「GP-E・関東 Op・ジャパンオープン/予実収支報告書」「TOMA 税理士法人: 監査確認書」をスクリーン資料及びWEB上にて各自で資料のご確認を頂きました。

【議案】《承認事項》

第1号議案 2022年度 関東支部予実差異収支表：第1号議案は賛成多数で承認可決されました。

第2号議案 2023年度 東日本ブロック事業案：第2号議案は賛成多数で承認可決されました。

第3号議案 2023年度 関東支部と東北支部 予算案：第3号議案は賛成多数で承認可決されました。

第4号議案 2023年度 GP-E 予算案：第4号議案は賛成多数で承認可決されました。

第5号議案 理事3名 重任決議案（白岩篤・福井優介・渡辺剛史）3名の重任決議案：第5号議案は賛成多数で承認可決されました。

第6号議案 理事1名 新任決議案（松村浩道）1名の重任決議案：第6号議案は賛成多数で承認可決されました。

○皆様には熱心にご審議頂き誠にありがとうございました。

議案審議後に、本部総会にて承認可決されたJPBA規約およびJPBAトーナメント規約一部訂正変更に関して説明を行った。またJPBA公式球およびポケットビリヤードのアジア統括協会（APBUからACBSへ）について説明を行った。

その後、新人プロ2名の紹介と「ご意見ご質問ご要望」に関して説明議論し、2023年GP-E決勝日16名の抽選に関して多数決を取り、決勝日のランキング上位1番目と2番目の選手は、トーナメント表1枠と9枠に固定とし左右に分かれ、あとの14名は無差別に抽選することで承認可決した。

16時20分よりNBA武田理事によるドーピング研修を実施致し、定刻17時に閉会致しました。

※以下【ご意見ご質問ご要望】内容。

▼ご要望

- ・グランプリ開催店舗の種目、ルール内容の選択の幅を広げる、ナインフット、ブレイクボックス、10 ボールサイドブレイク等々、木ラックルールもあると思いますが現状店舗ごとに用意も難しいと思いますのでラックシートで出来るルールは以上のものかと思います。進行を考慮するのであればセット数を減らすのもよいかと思います

◎ご回答

2023年からナインフットとブレイクボックスと木ラックも可能にしました。
しかし、エントリー数が減るようであれば、2024年以降は再考致します。

▼ご要望

- ・GPのSA枠をランダムにするなり変更して欲しいです。某SAから毎回同じ枠にしか入らないので不満が出ています。
- ・グランプリイースト第1シード側に強いアマチュアを入れるのをやめて欲しいです。
- ・グランプリイースト第一シード側にSA枠を作るのをやめて欲しいです。第三シード側に枠を作り第一シードを守るのを第一に考えて欲しいと思います。

◎ご回答

上記に関しては、トーナメント規約で決まっている事項の為、多数決では決められない内容となり、なぜこのシステムになっているのか、ホワイトボードに図を記載して西尾理事が説明を行った。

現在は・基本的にプロアマ対戦・プロはランキング順のシード順位で並べる。

- ・その組の一番シード順位の低いプロの横にSA選手を入れる。
- ・ランキングの低い第一シードから、より実績のあるSA選手を入れる。
- ・直近数試合と同じ組み合わせにならないように調整する。

以上のような取り決めになっております。

今は1組当たりのプロが4人から5人なので、第1シード側の左側にSAが来ますが、1組当たりのプロの人数が3人もしくは6人だとSAは第2シード側に行きます。仮に現在の1組当たりのプロの人数で提案のあった第3シードの隣にSA選手を入れた場合、一回戦の組み合わせが第4、第5シードのプロよりも第3シードのプロの方が厳しくなってしまいます。現状でも第1シードが初戦でSAと対戦する訳ではなく、第1シードをそこまで優先する必要は無いと思います。第1シードをさらに優先する事で他のシード順位の方に影響が出ます。

▼ご要望

- ・グランプリ決勝 16 の抽選を全員抽選で良いと思います(西は全員抽選でやってる) ランキング上位は予選組み合わせで優遇されてるので決勝トーナメントでも優遇する必要はないと思うため。
- ・グランプリの抽選についてランキング 1~4 を分ける必要はあるのでしょうか? 海外の開催でもあまり例を見ないと思います。仮にトップ 4 を分けるとしても、1~4 組から抜けた選手を分けた方が、厳しい組の予選通過の価値が高く、出場するアマチュア選手を含めたモチベーションを高めると思います。確かこのルールは東の多数決で決まったルールだったと記憶しております。基本的には今回また再採決を求めたいという事です。

◎ご回答

上記に関しては、前回は総会出席者 1 人 1 票で多数決を行ったので、今回も同じ方法で、まずはランキング上位者のシード枠を設けるか? 設けないか? 20 名による多数決を実施し、11 名の賛成を以ってランキング上位者のシード枠を設ける事となり、シード枠は上位 4 名とするか? 2 名とするか? 20 名による多数決を実施し、上位 2 名を左右に振り分けることに決まった。

▼ご要望

服装規定についてですが、キュースポーツとして普及活動に努める JPBA にとって、大会出場選手の服装をスポーティーなものに切り替えていくべきかと思います。大会の権威付けとして正装というのわかりますが競技中にワイシャツ革靴ネクタイというのはいかがなものかと。東日本・西日本それぞれ統一したユニフォームを作っていただき試合時に視覚的にも JPBA をアピールできるのではないかとおもいます。

◎ご回答

B コード以上 (ワイシャツ革靴ネクタイ着用) の試合は、現在 SG1 全日本選手権と G1 ジャパンオープン 2 試合だけで、ほとんどが C コードの試合となります。ご要望趣旨もご理解はできますので、大会協賛企業様とも協議をし、試合によっては徐々にスポーティーな服装規定に変更出来ればと思います。統一したユニフォームに関しては、協賛企業様含め難しいと思いますので、個別でご用意をお願いしたいと思います。

以上

2023年2月6日

ブロック長	岡田	将輝
副支部長	西尾	祐
理事	福井	優介
理事	渡辺	剛史
理事	白岩	篤

.....

以上